

■あいづエンジンのあゆみ・03

2008年2月16日・17日

会津エンジン03 テーマ「日本の教え・會津の教え」

会場：會津風雅堂 会津大学 及び各「夜楽」学会場

初日は、會津風雅堂でオープニングとパネルディスカッションを行い、俳優の奥田瑛二氏、照明デザイナーの海藤春樹氏、女優の川島なお美氏、精神科医の和田秀樹氏、当所青年部の真部会長がパネリストとなり、「教育」をテーマに意見を交わしました。會津で教えられた「仕の掟」や恥の意識、出会いの大切さ等に話題が及び、最後は、コーディネーターを務めた秋尾沙戸子氏が「今日をきっかけに「仕の掟」を広め、アイデンティティーを持つ會津人を全国へ送り出してほしい。それが日本を良くする近道」と締めくくりました。パネルディスカッション後は、白梅幼稚園児による「あいづっこ宣言」や「白虎隊剣舞」を行い、會津の精神が今に伝えられていることを示しました。

また、02では行われなかった、夜楽(やがく)を復活させ、市内、喜多方市、西會津町の7会場で、一般参加者と豪華ゲストが地酒や郷土料理を囲み、交流を深めました。このうち、萬花楼では、矢内氏、海藤氏、佐藤雄平福島県知事、泉田裕彦新潟県知事の4人が、「街」をテーマにまちづくりやスポーツを生かした地域づくり等について、フリートークを展開しました。

2日目は、初日の講師に加え、漫画家のさかもと未明氏、川柳作家のやすみりえ氏、「百ます計算」で有名な立命館大学教授の陰山英男氏ら著名人講師によるスーパー講座が會津大学を会場に開催。またこの年から、地元で活躍する市民講師による講座も設け、全24の講座を開催となりました。特に陰山氏の講座には、約240人が詰め掛け満員・大好評でした。さらに、サテライトとして、東京電力女子サッカー部「マリーゼ」のサッカー教室を喜多方市で開催したり、會津若松市国際交流協会と協力し、野口英世アフリカ賞創設を記念した講座も開催。芸人で格闘家のベルナルド・アッカ氏は、「アフリカの人々は日本に憧れがある。戦後復興を遂げた日本の勤勉な姿勢を学ぶべき」と話されました。

その他会場では、和田秀樹氏監督映画「受験のシンデレラ」の上映や、ヴィライナワシロ総料理長・山際博美氏の「なごみ汁」、ラーメン評論家・大崎裕史氏の「スペシャルラーメン」の配布、看護学生による健康診断コーナーなどバラエティに富んだイベントとなりました。

両日とも幅広い世代の方々に参加を頂き、受講者は、合計約3,000名を超え、寒い冬の會津から熱い文化が発信されました。

